

担い手と
ともに

江戸時代から続く農地を スマート農業技術で次代へつなぐ

新潟県上越市 農事組合法人 ファーマーズ稲

ＪＡえちご上越は、2024年にＪＡえちご上越とＪＡひすいの合併により誕生した広域ＪＡです。新潟県の南西部に位置し、南は長野県、西は富山県と隣接しており、糸魚川市・妙高市・上越市の3市に広がる総面積2,165km²（新潟県の17.2%）の自然豊かな農業地帯を管内としています。雪解けの清らかな水と豊かな大地からの恵みを受け、全国ブランドである「コシヒカリ」を中心とした「えちご上越米」をはじめ、大豆、園芸、花きなどが生産されています。

今号では、歴史ある農地でスマート農業に取り組む農事組合法人を紹介します。

人が農業を通じて地域を活性化し、 次代へ承継していく

上越市で水稻とえだまめを中心に営農を行う農事組合法人ファーマーズ稲は、少人数で約80haの農地を管理する地域の担い手法人です。県内で初めて「農業の生産性の向上のためのスマート農業技術の活用に関する法律」に基づく生産方式革新実施計画の認定を受けるなど、新しい技術や栽培方法を積極的に取り入れながら、江戸時代から受け継がれた高田平野の農地で先進農業に取り組んでいます。



ＪＡえちご上越所在地

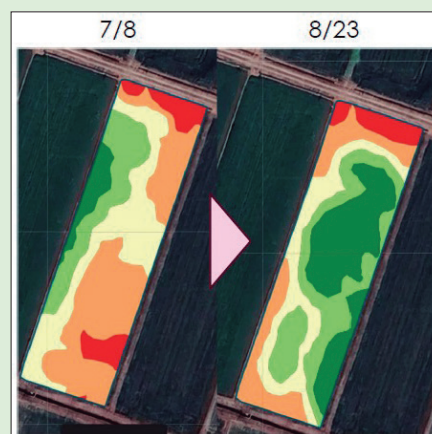
「ザルビオ フィールドマネージャー」の導入

同法人では、栽培管理の属人性を減らし「経験がなくてもやれる農業」をめざし、衛星データやAIを活用した栽培管理支援システム「ザルビオ フィールドマネー



農事組合法人 ファーマーズ稲の皆さん

ジャー」（以下、ザルビオ）を導入しました。地力マップや生育マップなどザルビオの機能を活用することで圃場の状態を「見える化」し、生育が弱い部分へ重点的に肥料を



ザルビオで可変施肥をしたことでムラが少なくなった例(令和7年度結果)

内の生育ムラを解消しています。ドローンを活用した追肥作業も行い、省力化と作業精度の向上を両立させています。

ＪＡ職員は、法人のスタッフとアカウント連携を行っており、AIによる生育予測や生育マップと実際の葉色・茎数を比較するなど、ＪＡとして同法人に対し効果的な営農指導が実現できています。また、現場に行く前にザルビオを確認することで作物の生育を想定できるので、効率的な作業管理が行えています。



令和8年度からは、ＪＡえちご上越もより効率化された営農指導の実現のため、ザルビオを導入しました。今後も「組合員や次世代の皆さんから信頼され選ばれ必要とされるＪＡ」をめざしていきます。

【全農 耕種総合対策部 統括課 東日本TAC・生産対策室】